

令和5年度第3回教育研究評議会議事要旨

日時 令和5年6月14日（水） 14時30分～14時44分

場所 第一会議室（Zoom 併用）

出席者 26名

長谷山理事長、穴沢学長（議長）、米澤理事・事務局長、江頭副学長、鈴木副学長、片桐副学長、沼澤副学長、高橋保健管理センター所長、山田言語センター長、深田情報総合センター長、大津 CGS 教育支援部門長、プラート CGS グローカル教育部門長、玉井 CGS 産学官連携推進部長、平井経済学科長、石川商学科長、小倉企業法学科長、木村社会情報学科長、西永一般教育系学科主任、乙政現代商学専攻長、籓本アントレプレナーシップ専攻長、手島教授、中島教授、國武教授、加地教授、沼田教授、クランキー教授

欠席者 2名

齋藤副学長、加賀田准教授

陪席者 4名

伊藤監事、佐藤監事、西原監事、檜山監事

議事に先立ち、前回5月17日開催の令和5年度第2回教育研究評議会の議事要旨の確認が行われた。

議題1. 教員の採用について

穴沢学長から、審議資料1に基づき、教員の採用について提案があった。

（提案内容）

- ・6月7日開催の学部教授会において、マクロ経済学等担当教員の採用人事に関する教育研究業績の審査を行い、審査結果が得られた。
- ・学部教授会における採用人事に関する教育研究業績の審査結果は、電子投票システムによる投票により、出席者の3分の2以上の賛成を得て、採用可となっている。

提案後、審議が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、穴沢学長から、採用手続きを進める旨発言があった。

議題2. 教員の定員・現員及び教授、准教授昇任に係る基準該当者の確認について

穴沢学長から、審議資料2に基づき、令和5年6月1日現在の教員の定員・現員について説明があった。

続けて、穴沢学長から、審議資料2-1で黄色網掛けの空欄となっている今年度の大学全体枠からの昇任可能数については、学部7名、アントレプレナーシップ専攻0名、

グローバル戦略推進センター0名としたい旨提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、評議員から、以下のとおり意見等があった。

○アントレプレナーシップ専攻の昇任可能数を0とした理由を伺いたい。

→大学全体の教授・准教授の比率は、3：2とすることを基準としている。それを念頭に年齢構成や大学に来てからの経験等、様々な観点から検討して割振を決定した。アントレプレナーシップ専攻は、順次定年を迎える者がおり、また准教授の採用後の経験年数等を総合的に勘案し、今年度の昇任可能数を0とすることは妥当であると判断した。

承認後、審議資料2-2に基づき、今年度の昇任基準該当者名簿の確認が行われたが、修正等の意見は出されなかった。

確認後、穴沢学長から、本評議会終了後に、各学科等の長宛てに昇任候補者の推薦を依頼するので、7月3日（月）までに推薦願いたい旨発言があった。併せて、9月の昇任教授会において、昇任について過半数の賛成を得ながら昇任できなかった候補者が出た場合には、「教員昇任人事規程に関する申し合わせ第4項」及び「学内教員定員管理の方針大学全体枠よりの昇任手続き」に基づき、次年度の4月1日までに次の項目のいずれかが発生した場合に、次年度の4月1日付けで教授への昇任を認めることとされている旨説明があった。

○当該教授昇任候補者が所属する学科等において教授が退職（退職後再雇用される場合も含む）したとき

○当該教授昇任候補者が所属する学科等から選出された学長（学長に選出されたときに教授であった場合に限る。）が63才に達したとき

○次回開催について

次回の教育研究評議会は、7月19日（水）に開催する。時間は追って連絡する。

以上